

## 仮設園舎の完成記念

笠間保育園での通常保育再開  
昨年5月に焼失した笠間保育園の仮設園舎が3月10日(金)に完成し、13日(月)から通常保育を再開しました。再開の初日、大安寿太鼓が仮設園舎の完成を祝って太鼓の演奏を行いました。目の前で繰り広げられる見事なばちさばきを、園児たちは食い入るように見入っていました。大安寿太鼓の野口誠さんは「園児たちへ応援の思いを込めて演奏しました」と話していました。5歳児の保護者は「あと少しの園生活を笠間保育園で楽しく過ごしてほしいです」と願いを込めていました。仮設園舎の完成により、市内の6つの保育園に分散していた園児たちは、10カ月ぶりに集いました。



1. 腹まで響く太鼓の音を、みんなで一緒に楽しみました
2. 太鼓の演奏前には5歳児によるかわいい獅子舞が登場
3. 迫力満点の獅子舞の登場に、園児から「わー!」と歓声が

勢いよくスタートを切る選手たち。伊藤さんは写真中央(黒のタイツ)



## 美し国三重市町対抗駅伝

津市から伊勢市までの10区間を競う  
2月19日(日)、第16回美し国三重市町対抗駅伝が3年ぶりに開催されました。参加した29市町中、いなべ市は総合の部で8位、市の部で6位に入賞。1区(小学生女子)を走り、2区へ3位でたすきをつないで健闘した伊藤まひろさんは「初出場なのでスタートは緊張した。雨にぬれた路面で転ばないように気をつけて、力いっぱい走った。チームに貢献できて良かった」と喜んでいました。

全国大会では、中学生の部43チームで優勝を争います



## 全国大会に挑戦します

4年ぶり5回目の出場  
2月22日(水)、桑員ボーイズのメンバー6人が市長を訪問しました。同チームは、昨年11月に行われた県予選で優勝を果たし、3月26日(日)～31日(金)開催の第53回日本少年野球春季全国大会(東京都)への切符をつかみ取りました。員弁中学校2年生の水元洸太さんは、「積極的なプレーでチームに貢献したい。打席に立ったときは、必ず打つという気持ちで臨みたい」と意気込んでいました。

## クイズで防災学習

災害時の行動を考える

3月1日(水)、市の女性消防団が員弁中学校1・2年生の授業で防災学習を行いました。団員が、災害時に直面する課題をもとにクイズを作成。「自宅で地震が発生。避難所へは1人で行くのか」などのクイズに、YesかNoかの考えで分かれ、なぜそう考えるのか意見を交わしました。身近で起こりうる想像しやすい内容のクイズに、素直な気持ちで答えたり、仲間の意見に共感したりする生徒たち。生徒会執行部の中村晃大さんは「答えに迷うこともあった。みんなの意見を聞いていろんな考え方を知れた。家族でも話し合いたい」と感想を話していました。



1. 女性消防団の皆さん。中学校での初めての活動に緊張した面持ち
2. 班長がカードに書かれたクイズを出す
3. グループ内で生徒一人一人が自分の考えを積極的に発言

グループに分かれ熱心に話し合う。終了時間がきても話が尽きない



## 福祉委員会交流会

地域での見守りについて意見交換

3月3日(金)、員弁コミュニティプラザで、福祉委員会交流会が開かれました。年2回の交流会は、福祉委員活動の情報交換の場になっています。高齢者や子どもの見守りについて、他地域の取り組みを聞いたり、お互い相談に乗ったりと意見を交わしました。参加者は、「見守りをするには、特別なことではない。地域でいろんな人の助けを借りて、見守りをもっと広めていきたい」と話していました。

掲げられた校歌の前で誇らしげな表情の6年生。翌日、卒業式を迎えた



## 卒業制作除幕式

藤原小学校開校時の1年生が校歌を木彫り

3月16日(木)、藤原小学校で、6年生が制作した木彫りの校歌の除幕式がありました。除幕した瞬間、全校児童が「おーっ!」と大歓声。約2カ月かけて完成させた木彫りの校歌は、漢字や英字もあり、細い部分やカーブを彫るのに苦労したそう。6年生は「6年間の感謝の気持ちを込めて彫りました。校歌が宝物になったらうれしい。大切に受け継いでいってください」と在校生へ伝えていました。